SONY

3-238-629-03(1)

デジタルサラウンドヘッドホンシステム

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

MDR-DS8000

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

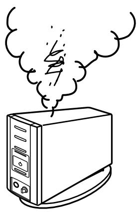
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ 電源を切る

❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く

❸ テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・発熱・発火・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、漏液・破裂・発熱・発火・感電などによりやけどやけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止

接触禁止　ぬれ手禁止

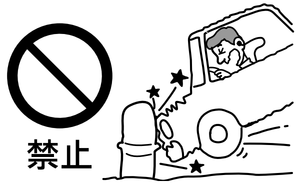
警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、火災・発熱・発火・感電によりやけどや大けがの原因となります。

運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



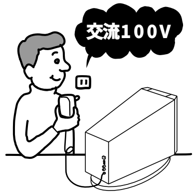
内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。



この製品を海外で使用しない

ACパワーアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、充電用接点や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



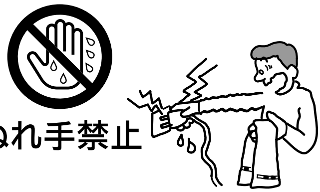
指定以外のACパワーアダプターを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

⚠注意 下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

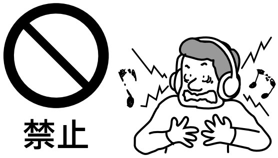
ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない

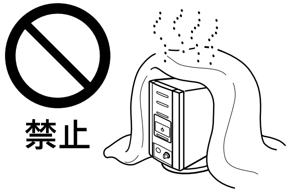
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ミニディスク、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



かゆみなど違和感があったら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

充電式電池

ニッケル水素（Ni-MH）単3形

乾電池*

アルカリ単3形

* マンガン乾電池では、ご使用時間が極端に短くなるため、おすすめしません。

⚠危険　充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　充電式電池について

- 付属の充電式電池を他の機器に使用しない。
  この電池はソニーデジタルサラウンドヘッドホンシステム専用です。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 付属の充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

（次のページへつづく）

⚠警告 乾電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意

- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

主な特長

本システムはデジタル赤外線伝送方式を使用したデジタルサラウンドヘッドホンシステムです。
DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどと本システムのデジタルサラウンドプロセッサーを付属の光デジタル接続ケーブルで接続するだけで、マルチチャンネルのサラウンド音場を、ヘッドホンで快適にお楽しみいただけます。

- ドルビーデジタル*、ドルビー プロロジックII*、DTS-ES*、DTS*、MPEG-2 AAC*対応(「ドルビーデジタルサラウンドEX」表記のソフトも独自アルゴリズムにて再生可能)
- ドルビーデジタル／ドルビープロロジックII、DTSバーチャル認証取得
- Logic 3Dプロセッサーを用いた信号処理により、映画館のような臨場感あふれるサラウンドサウンドをヘッドホンで実現
- 外来ノイズなどの影響を受けにくく、CD音質と同等のデジタル赤外線伝送を利用した、コードレスヘッドホン採用(非圧縮伝送)
- ヘッドホン部にヘッドトラッキングシステム搭載で、よりリアルな臨場感を再現
- 最大10mまでの広い赤外線到達範囲
- ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用
- ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン／オフ機能
- ヘッドホンの左右の音量を連動して調整できるVOL(ボリューム)つまみ
- 専用ヘッドホン(MDR-IF8000、別売り)を増設することで、多人数でサラウンドを楽しむことも可能
- ヘッドホンの電源は、付属または指定の充電式ニッケル水素電池、または別売りの単3形アルカリ乾電池の二通り

* **本システムのプロセッサーは、ドルビーデジタルデコーダー、ドルビープロロジックIIデコーダー、**DTS-ES**デコーダー、**DTS**デコーダー、および**MPEG-2 AAC**デコーダーを搭載しています。**
本システムのプロセッサーはドルビーラボラトリーズおよびデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。

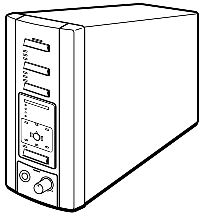
AAC**パテントマーキング**
Pat. 5,848,391; 5,291,557; 5,451,954; 5 400 433; 5,222,189; 5,357,594; 5 752 225; 5,394,473; 5,583,962; 5,274,740; 5,633,981; 5 297 236; 4,914,701; 5,235,671; 07/640,550; 5,579,430; 08/678,666; 98/03037; 97/02875; 97/02874; 98/03036; 5,227,788; 5,285,498; 5,481,614; 5,592,584; 5,781,888; 08/039,478; 08/211,547; 5,703,999; 08/557,046; 08/894,844

CEマークについて
製品上のCEマークはEU加盟国で販売される製品にのみ有効です。

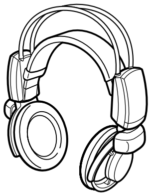
本体／付属品を確かめる

本機をお使いになる前にすべてそろっているか確かめてください。

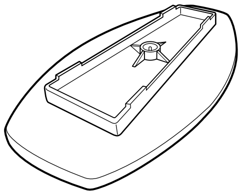
①プロセッサー（1台）



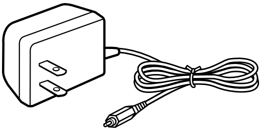
②ヘッドホン（1台）



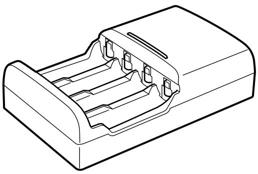
③スタンド（プロセッサー用、1個）



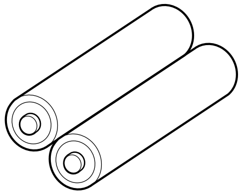
④ACパワーアダプター（1個）



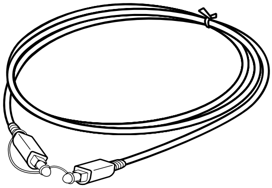
⑤充電器（1個）



⑥充電式ニッケル水素電池（2本）

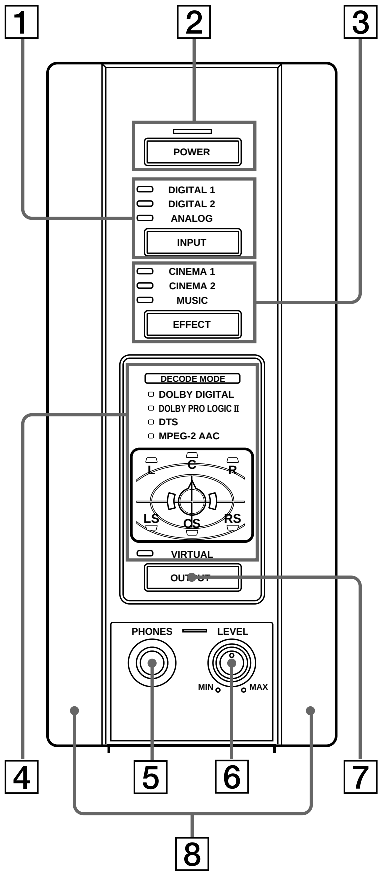


⑦光デジタル接続ケーブル
（角型⟷角型、1本）



各部のなまえと働き

プロセッサー前面



1 **DIGITAL1、2ランプ**
ANALOGランプ
INPUT（入力）ボタン
入力（DIGITAL1/DIGITAL2/ANALOG）の切り換えに使います。

2 **POWER（電源）ランプ**
電源を入れると緑に点灯します。
POWER（電源）スイッチ
電源の入／切の切り換えに使います。

3 **CINEMA（映画）1、2ランプ**
MUSIC（音楽）ランプ
EFFECT（効果）ボタン（詳しくは22ページ）
音場モード（CINEMA1/CINEMA2/MUSIC）の切り換えに使います。

4 **デコードモードランプ**（詳しくは21ページ）

5 **PHONES端子**（詳しくは22、25ページ）
お手持ちのヘッドホンをつなぎます。
MDR-F1（別売り）をつなぐと最適な効果が得られます。

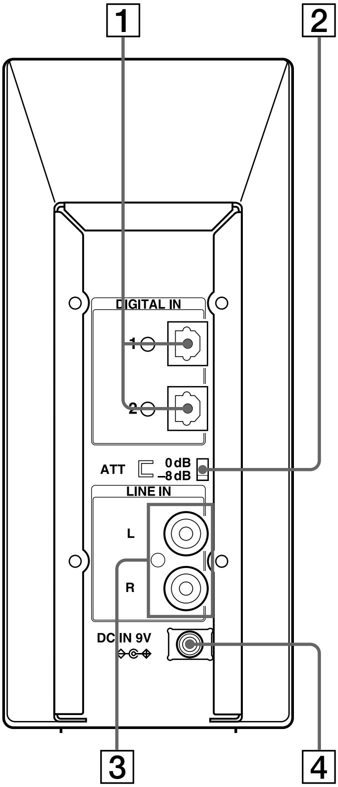
6 **PHONES—LEVELつまみ**
PHONES端子につないだヘッドホン（別売り）の音量を調節します。

7 **OUTPUT（出力）ボタン**
出力モード（OFF/VIRTUAL FRONT/VIRTUAL SURROUND）の切り換えに使います。

8 **赤外線発光部**
赤外線発光部が見通せる位置に設置してください。

（次のページへつづく）

プロセッサー後面



1 **DIGITAL IN（デジタルソース入力）1、2端子**（詳しくは15ページ）

DVDプレーヤーやBSデジタルチューナー、LDプレーヤーなど、別売りのデジタル機器につなぎます。

2 **ATTスイッチ**

アナログ入力で音声が小さい場合は「0dB」に切り換えます。通常は「–8dB」にして使います。

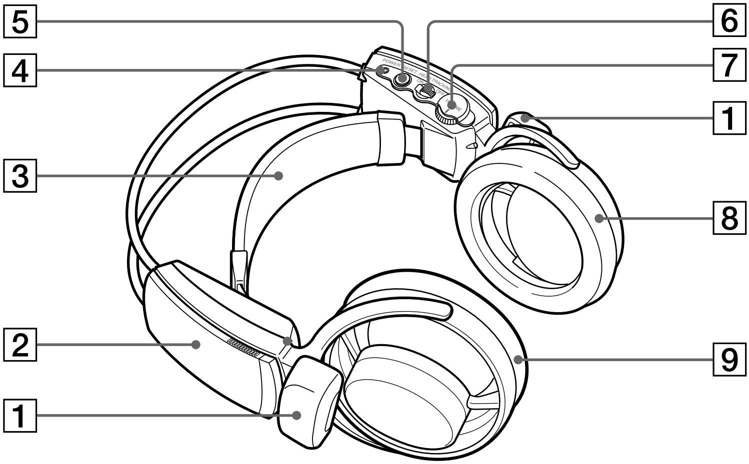
3 **LINE IN（ライン入力）端子**（詳しくは16ページ）

ビデオデッキやテレビなど、別売りのAV機器の音声出力端子につなぎます。

4 **DC IN端子**

付属のACパワーアダプターをつなぎます。（必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因となり危険です。）

ヘッドホン



1 **赤外線受光部**
左右2ヶ所にあります。

2 **電池ケース**
上側に押し上げるとフタが開きます。
付属充電式電池および単3形アルカリ電池専用です。

3 **フリーアジャストバンド**
頭にかけると自動的に電源が入ります。

4 POWER**（電源）ランプ**
フリーアジャストバンドを引き上げると、電池の残量が充分ある場合赤く点灯します。

5 RESET**（ヘッドトラッキングセンターリセット）ボタン**（詳しくは23ページ）
ヘッドトラッキング機能の位置情報をリセットします。

6 HEAD TRACKING**（ヘッドトラッキング機能入／切）スイッチ**（詳しくは23ページ）
プロセッサーの出力モードがVIRTUAL（OFF以外）になっているときにONにすると、ヘッドトラッキング機能が働きます。

7 VOL**（音量）つまみ**
音量を調節します。

8 **イヤーパッド（右）**

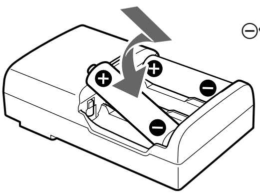
9 **イヤーパッド（左）**

充電式電池を充電する

お買上げ時の充電式電池は、まず充電してからお使いください。
必ず付属の専用充電器を使用してください。同時に4本まで充電できます。

充電器に充電式電池を入れる

⊕と⊖の向きを正しく、充電式ニッケル水素電池(付属、2本)を入れる。

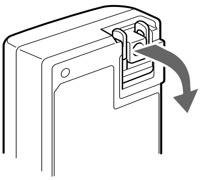


ご注意

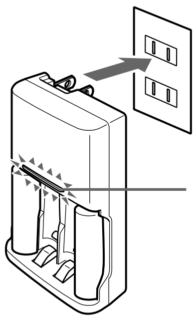
- 充電式電池は確実に押し込んでください。
- 2本充電する場合は、急速充電モードになり、約90分で充電が完了します。

充電する

① 充電プラグを起こす。



② コンセントに差し込む。



充電表示ランプが消えたら

充電完了です。充電器をコンセントから抜いて、充電式電池を取り出してください。

付属の充電式ニッケル水素電池の充電時間の目安と使用可能時間

充電時間	使用可能時間
約90分*	約7時間**

* 充電式電池2本を充電器に入れた場合(急速充電モード)、充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間です。

** 周囲の温度や使用状態により、上記の接続時間と異なる場合があります。

ご注意

- この充電器は一度に4本まで充電することができますが、電池の本数によって充電時間が異なります。
  - 充電器に1～2本入れた場合　：約90分（急速充電モード）
  - その他の場合　：約180分
- 充電中に充電器や電池が多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- 充電器をご使用にならないときは、必ずコンセントから抜いておいてください。
- 暖房器具の近くや強い直射日光の当たる温度の高いところ、また湿度の高いところでの充電や放置はしないでください。
- 完全に放電していない電池を充電した場合、充電表示ランプが早めに消灯することがあります。
- 付属の充電器は、ソニー製単3形ニッケル水素電池（NH-AA）が充電できるようになっています。他の同じ形の乾電池や指定以外の充電式電池は絶対に充電しないでください。
- 充電式ニッケル水素電池を充分に充電しても、使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。ソニー製の単3形充電式ニッケル水素電池（NH-AA）をお買い求めになるか、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない。
  上記のような場所で使うと火災や感電の原因となることがあります。
- コンセントの近くでお使いください。充電ランプが消えていても電源から遮断されておりません。ご使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。

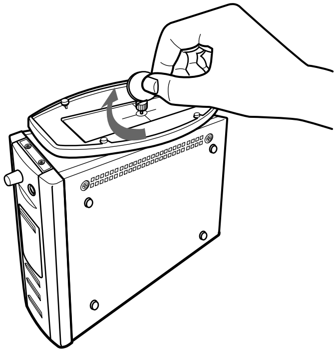
ヘッドホンシステムをつなぐ

設置のしかた

縦置き／横置きを好みで選ぶことができます。

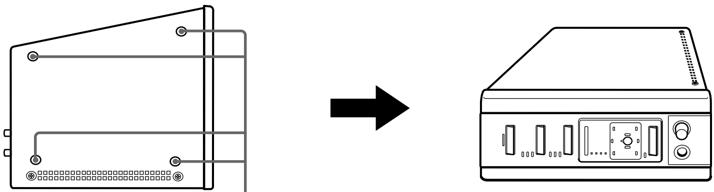
縦置きで使用する場合

コインなどを使って、プロセッサーの底面に付属のスタンドを取り付けてください。



横置きで使用する場合

ゴム脚(4個)が付いている方の面を下にして設置してください。

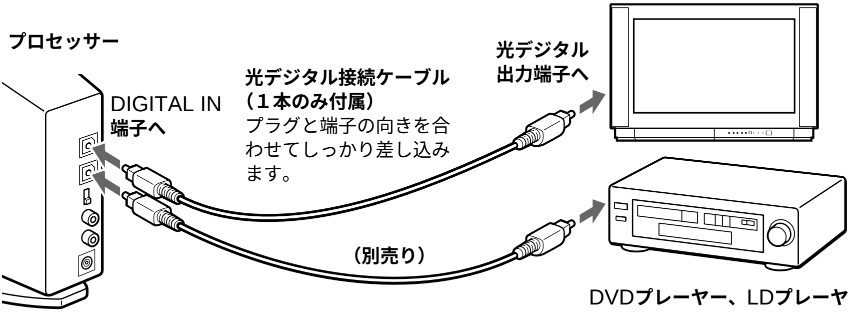


ご注意

- プロセッサーはヘッドホンをご使用になる場所から見通せる位置に設置してください。
- プロセッサーを設置するときは、テレビの上など不安定な場所は避けてください。落下は思わぬケガや故障の原因となります。
- 縦置きで使用する場合、安全のため必ずスタンドを取り付けてご使用ください。
- 横置きで使用する場合、設置条件によっては所定の赤外線到達距離が得られないことがあります。
- 横置きで使用する場合、ゴム脚が付いていない面を設置面にして使わないでください。

プロセッサーとデジタル機器をつなぐ

付属の光デジタル接続ケーブルを使って、DVDプレーヤー（またはLDプレーヤー）やBSデジタルチューナーなどの光デジタル出力端子と、プロセッサーのDIGITAL IN1または2端子をつないでください。



ご注意

- 光デジタル接続ケーブルは非常に精密に作られています。このため、外部からの力や衝撃に対して弱くなっておりますので、プラグを抜き差しするときは丁寧にお取り扱いください。
- 本機にはAC-3 RF端子が装備されていませんのでLDプレーヤーのAC-3 RF信号を直接入力することはできません。
- 本機のデジタル入力は96kHzのサンプリング周波数には対応していません。DVDプレーヤー側のデジタル出力に関する設定を48kHzにしてお使いください。96kHzのデジタル信号を入力すると、ノイズが出ることがありますのでご注意ください。

DTSについて

- DTS音声で収録されたDVDを再生するには、DTSに対応したDVDプレーヤーが必要です。（詳しくはお使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。）
- DTSフォーマットのLDやCDで、早送り時や巻き戻し時などにノイズが発生することがありますが、故障ではありません。
- DVDプレーヤーのDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」になっている場合は、DVDメニューでDTS出力を選択しても音が出ないことがあります。
- DVDプレーヤーと本機をアナログで接続している場合、音が出ないことがあります。この場合は、デジタルで接続してください。

（次のページへつづく）

別売り接続コード

- 2台以上の機器と本機を接続するときは、別売りの光ケーブル（POC-5Aなど）をお使いください。
- ポータブルDVDプレーヤーやポータブルCDプレーヤーなどの光ミニデジタル出力端子からDIGITAL IN端子へつなぐときは、別売りのPOC-5AB（ミニプラグ←→角型プラグ）などをお使いください。

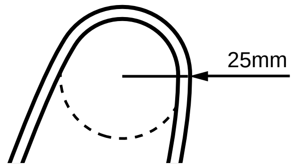
光デジタルセレクター（別売り）

複数のデジタル機器を接続したいときは、SB-RX100P（光デジタルセレクター（入力4系統、出力3系統）、別売り）をお使いになると便利です。

光デジタル接続ケーブルについてのご注意

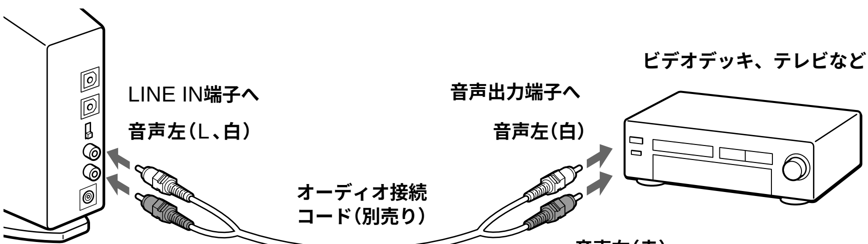
- 光デジタル接続ケーブルには落下物などによる衝撃を与えないでください。
- 光デジタル接続ケーブルの抜き差しは、プラグを持って、ていねいに行なってください。
- 光デジタル接続ケーブルの端面が汚れると性能が低下しますので、汚さないようにしてください。
- しまうときは、プラグ先端にキャップを付けて、光デジタル接続ケーブルを折り曲げすぎないようにしてください。

光デジタル接続ケーブルの最小曲げ半径は25mmです。



プロセッサーとアナログ機器をつなぐ

別売りのオーディオ接続コードを使って、ビデオデッキやテレビなどの音声出力端子と、プロセッサーのLINE IN（L/R）端子をつないでください。



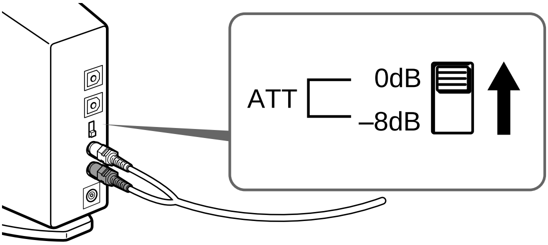
別売り接続コード

ヘッドホン端子などのステレオミニジャックからLINE IN端子へつなぐときは、RK-G129（ステレオミニプラグ ←→ ピンプラグ×2）などをお使いください。
この場合、プレーヤー側のボリュームを中ぐらいにしてご使用ください。プレーヤー側のボリュームが低く設定されていると、ノイズが発生することがあります。

その他の別売り接続コードについては、裏表紙をご覧ください。

ATTスイッチについて

アナログ入力で音声が小さいときは、プロセッサ裏面にあるATT（アッテネーター）スイッチを「0dB」に切り換えてご使用ください。

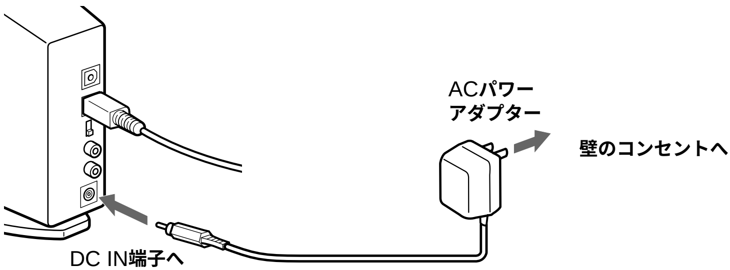


位置	**視聴ソース**
0dB	テレビやポータブル機器など、出力レベルの低いもの
–8dB	その他の機器（出荷時の設定）

ご注意

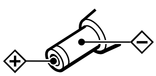
- ATTスイッチは、必ず音量を下げてから切り換えてください。
- アナログ入力された音声がひずむ（同時にノイズが発生する場合もあります）ときは、ATTスイッチを「–8dB」に切り換えてください。

壁のコンセントへつなぐ



ご注意

- 必ず付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因になります。

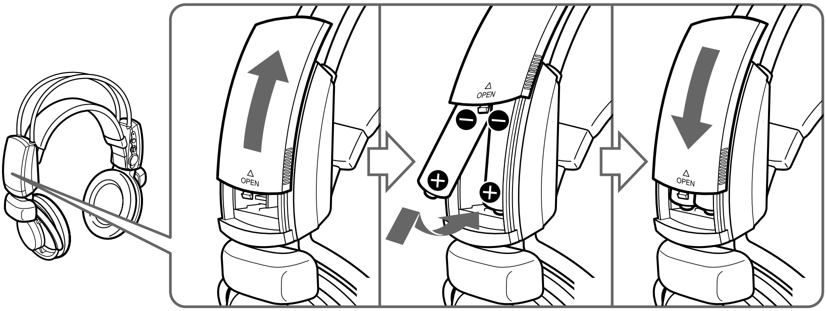


極性統一形プラグ

- 電圧やプラグ極性が同じACパワーアダプターでも、電流容量その他の要因で故障の原因になります。必ず付属のACパワーアダプターをご使用ください。

電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、 充電した(12ページ)付属の充電式ニッケル水素電池2本を下図のように⊖側から入れてください。



その他の電池を使うときは

本機は別売りの単3形アルカリ乾電池でもご使用になれます。上図を参考にして電池を入れてください。

乾電池の持続時間

乾電池の種類	持続時間
ソニーアルカリ乾電池　LR6(SG)	約7時間*

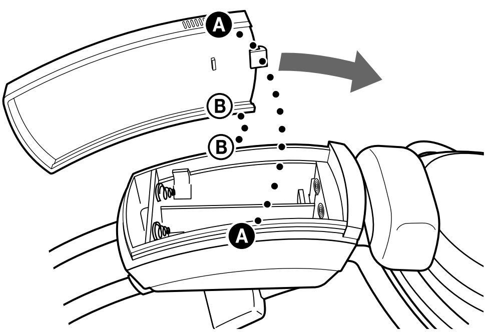
* 周囲の温度や使用状態により、上記の接続時間と異なる場合があります。

ご注意

本機にはマンガン電池はお使いになれません。

電池ぶたが外れた場合の取り付け方法

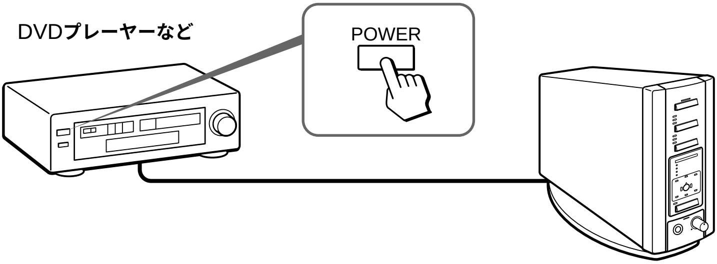
図のようにⒶとⒶ、ⒷとⒷを合わせて取り付けてください。



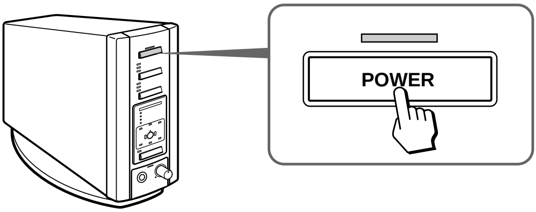
つないだ機器の音声を聞く

操作に入る前に、必ず「ヘッドホンシステムをつなぐ」（14〜18ページ）をご覧の上、正しい接続を行なってください。

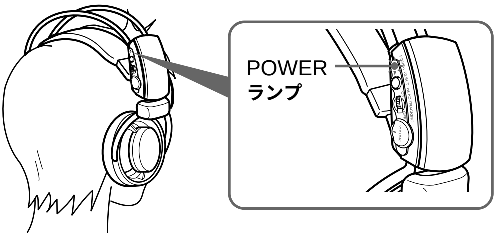
1 **プロセッサーをつないだ機器の電源を入れる。**



2 POWER**スイッチを押して、プロセッサーの電源を入れる。**
POWERランプが緑色に点灯します。

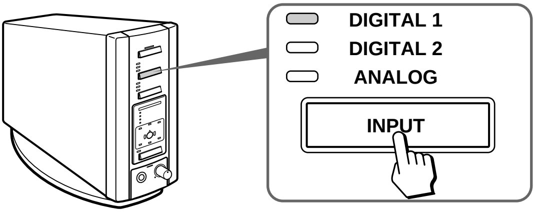


3 **ヘッドホンをかける。**
POWERランプが赤く点灯し、自動的に電源が入ります。



（次のページへつづく）

4 INPUT（入力）ボタンを押して、音声を聞く機器を選ぶ。



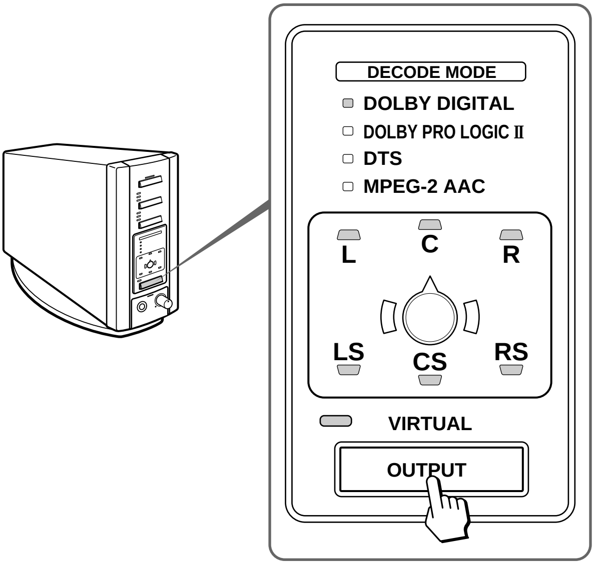
点灯するランプ	聞きたい音源
DIGITAL1	DIGITAL IN1端子につないだ機器の音声
DIGITAL2	DIGITAL IN2端子につないだ機器の音声
ANALOG	LINE IN端子につないだ機器の音声

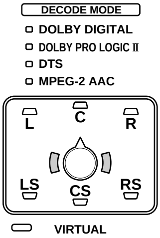
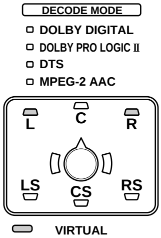
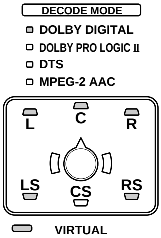
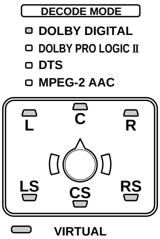
ご注意

二重音声（MAIN/SUB）の音源を視聴するときは、LINE IN端子に接続して、プレーヤーやテレビの方で聞きたい音声を選んでください。

5 手順4で選んだ機器の再生を始める。

6 OUTPUT（出力）ボタンをくり返し押して、出力モード（サラウンド効果）を選ぶ（次ページ参照）。



<table>
<tr><th>点灯するランプ</th><th>出力モード(サラウンド効果)</th></tr>
<tr><td>
</td><td>「OFF」
通常のヘッドホン再生。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>「VIRTUAL FRONT」
前方に置かれた左右2個のスピーカーから音が聞こえているようなバーチャル効果。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>「VIRTUAL SURROUND 5.1」
前方に置かれた左右2個のスピーカーに加え、1個のセンタースピーカー、後方に置かれた左右2個のスピーカー、および1個のスーパーウーファーから音が聞こえているようなバーチャルサラウンド効果。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>「VIRTUAL SURROUND 6.1」
入力信号がDOLBY DIGITALまたはDTSのマルチチャンネルソースの場合のみこのモードを選択できます。
前方に置かれた左右／センターの3個のスピーカーに加え、後方に置かれた左右／センターの3個のスピーカー、および1個のスーパーウーファーから音が聞こえているようなバーチャルサラウンド効果。
ご注意
このモードを選ぶときは、DOLBY DIGITALまたはDTSのマルチチャンネルソースを再生状態にしてください(デコードモードランプが点灯していることを確認してください)。停止中、メニュー表示時などほかの状態ではこのモードを選べません。</td></tr>
</table>

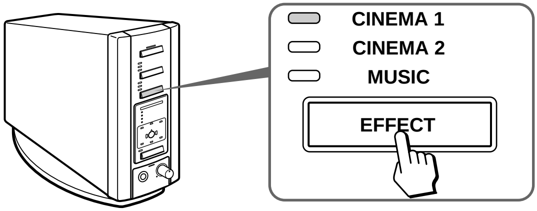
DECODE MODE**ランプについて**

出力モードが「VIRTUAL SURROUND 5.1」および「VIRTUAL SURROUND 6.1」に設定されている場合、入力された音声信号の記録方式をプロセッサーが自動判別して点灯します。ドルビーデジタル／DTS／MPEG-2 AACなどの音声切り換えは、接続した機器側(DVDプレーヤー、BSデジタルチューナーなど)で行なってください。

- DOLBY DIGITAL：DOLBY DIGITALフォーマットで記録された信号
- DOLBY PRO LOGIC II：2チャンネルの信号(デジタルまたはアナログ)がDOLBY PRO LOGIC II 処理された場合
- DTS：DTSフォーマットで記録された信号
- MPEG-2 AAC：MPEG-2 AACフォーマットで記録された信号

(次のページへつづく)

7 **EFFECT（効果）ボタンを押して、好みの音場モードを選ぶ（20ページの手順6で「OFF」以外を選んだ場合のみ）。**

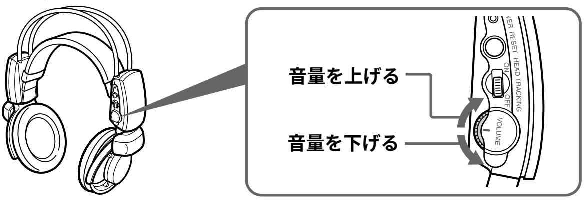


点灯するランプ	音場モードと適した入力ソース（音源）
CINEMA1	映画館や劇場など、広い屋内の音場を再現するモード。 映画などのソースに適しています。
CINEMA2	CINEMA 1と比べて、リアリティのあるサラウンドモード、まさにシーンの中にいるような感覚に近づけます。 映画などのソースに適しています。
MUSIC	音響環境のよいリスニングルームの音場を再現するモード。音楽ソースに適しています。

ご注意

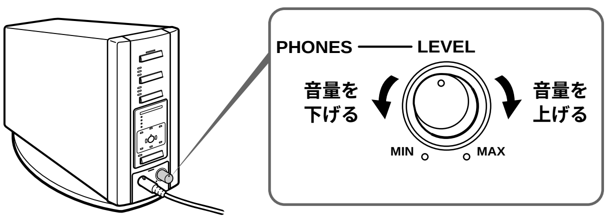
20ページの手順6で出力モード（サラウンド効果）「OFF」を選んでいる場合、EFFECT（効果）ボタンを押しても、音場モードは選べません。

8 **音量を調節する。**



PHONES端子につないだヘッドホン（別売り）の音量を調節するには

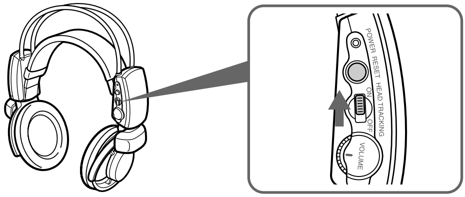
PHONES—LEVELつまみを回して調節してください。



ご注意

映画の場合、静かなシーンで音量を上げすぎて、急な爆発シーンなどで耳を痛めないようご注意ください。

9 ヘッドトラッキング機能をONにする（20ページ手順6で「OFF」以外を選んだ場合のみ）。



正面（例えばテレビなど）を向いて、HEAD TRACKINGスイッチをONにし、約2秒間じっとする。
ヘッドトラッキングシステムが安定するまでは頭を動かさないでください。この間音声は出力されません。

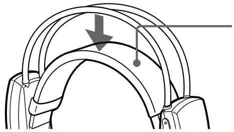
ヘッドトラッキングシステムが安定すると再生音が聞こえてきます。
このあとは頭を動かしても横や後ろを向いても、正面方向から音が聞こえるようになります。

ご注意

- ヘッドトラッキング機能の安定動作のため、必ずヘッドホンを正しく（垂直に：19ページ参照）装着してください。
- HEAD TRACKINGスイッチをONにするたび、また、ONの状態でヘッドホンをかけるたびに、新たにヘッドトラッキングシステムの安定化を行ないますので、その都度、約2秒間頭を動かさないでください。
- ヘッドホンから聞こえる音の正面方向と、実際の正面にズレがある場合は、正面を向いて、ヘッドホンのRESETボタンを押してください。

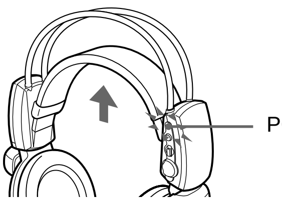
ヘッドホンをはずすと自動的に電源が切れます — オートパワーオン／オフ機能

お使いにならないときは、プロセッサーにかけるなどしてフリーアジャストバンドが引き上げられた状態にならないようにご注意ください。オートパワーオン機能が誤って働いてしまい、電池が消耗します。



電池の残りを確認するには

フリーアジャストバンドを引き、POWERランプが赤く点灯すれば使用できます。
POWERランプが点滅して、ヘッドホンから「ピーッ、ピーッ、…」という音がしたら、充電式電池を充電するか、新しいアルカリ乾電池に取りかえてお使いください。



各モード間の移行時間について

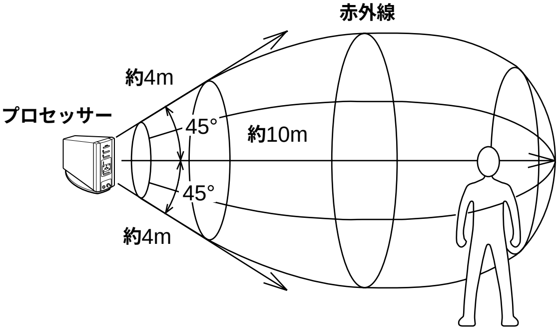
プロセッサーの各ボタンを押してから新しいモードに移行するときに、移行時間が異なることがあります。これはモード移行によるシステム制御の違いによるものです。

ヘッドホンから音声が聞こえないときは

赤外線の届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして受信状態が悪くなると、自動的にミューティング機能が働き、「ピッピッピッ…」というビープ音が鳴ってヘッドホンから音声が聞こえなくなります。プロセッサーに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミューティング状態は解除されます。

赤外線の届く範囲について

プロセッサーからの赤外線の届く範囲は、おおよそ下図のとおりです。



ご注意

- このシステムは赤外線を使用しているため、障害物で赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
- 赤外線受光部を手や髪でおおわないでください。
- ヘッドホンをお使いになる位置が図の範囲内であれば、プロセッサーをヘッドホンに対して前方、後方、横方向に置いてもお使いになれます。
- プロセッサーの位置や、お使いになる場所の状況によって、聞こえかたが異なります。なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。
- 他のプロセッサーやトランスミッターと併用すると混信することがあります。

約10分間以上音声信号が入力されないと

プロセッサーの赤外線送信部からの赤外線が自動的に停止し、再び音声信号が入力されると自動的に赤外線が送信されます。また、アナログ入力で非常に小さい音が約10分間続いたときも、赤外線送信部からの赤外線が停止することがあります。この場合は接続した機器の音量を上げ、ヘッドホンの音量を下げてお使いください。

ご注意

- プロセッサーの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には影響ありません。
- ヘッドホンは、赤外線が届く範囲（上記「赤外線の届く範囲について」）でお使いください。
- 直射日光などの強い光線の下で本システムを使わないでください。音がとぎれることがあります。
- オープンエアタイプのヘッドホンは、音が外にもれる構造になっています。音量を上げ過ぎて、周囲の迷惑にならないように心がけてください。
- 音楽CDのように映像を伴わないソースの場合、音の定位がわかりにくい場合があります。
- 本システムは人間の平均的なHRTF*（頭部伝達関数）をシミュレートしていますが、HRTFには個人差があるため効果の感じかたは人により異なる場合があります。

* Head Related Transfer Functionの略です。

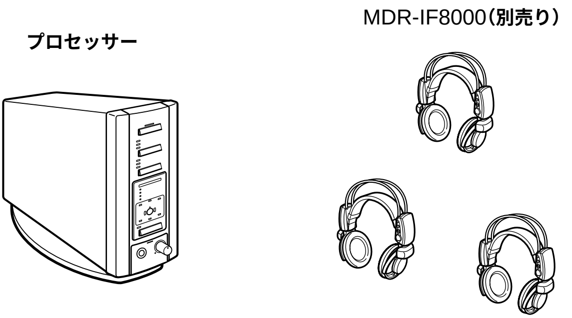
増設ヘッドホンのご案内

本システムでは2通りの増設ヘッドホンを用意しています。

ワイヤレスで多人数で楽しむには

→ 専用赤外線コードレスヘッドホン（MDR-IF8000、別売り）を増設することで、多人数でサラウンドを楽しめます。

* 受信エリア内であれば、何台でも使用可能です。

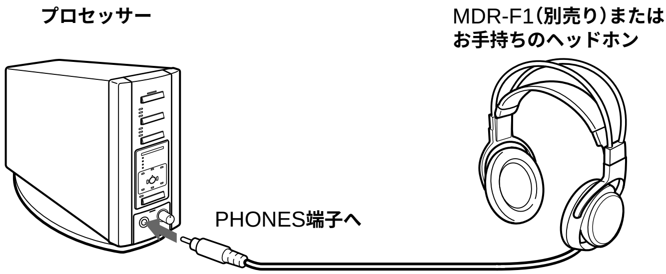


ご注意

本機は、デジタル赤外線伝送方式を採用しているため、アナログ方式の赤外線コードレスヘッドホン（MDR-IF5000など）は使用できません。

通常のヘッドホン（有線タイプ）を接続するには

→ PHONES端子は別売りのフルオープンエア型ヘッドホンMDR-F1の使用を前提として調整されています。MDR-F1を接続することでも、高音質にサラウンドを楽しめます。お手持ちのオープンエアタイプのヘッドホンでもご使用いただけます。よりよいサラウンド効果を得るためには、専用コードレスヘッドホンまたはMDR-F1のご使用をおすすめします。



ご注意

- ヘッドホンをPHONES端子から抜くときは、コードを引っぱらずに、必ずプラグをつかんで抜いてください。
- 密閉型やインナーイヤー型のヘッドホンを接続した場合、サラウンド効果が得られないことがあります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	➡プロセッサーとAV機器の接続を確認する。 ➡プロセッサーにつないだAV機器の電源を入れ、演奏（再生）を始める。 ➡INPUTボタンの設定が、音を聞きたい機器を正しく選んでいるか確認する。 ➡プロセッサーとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続した機器の音量を上げる。 ➡ヘッドホンの音量を上げる。 ➡ヘッドホンの電池が完全に消耗している。 フリーアジャストバンドを引き、POWERランプが消灯していたら、充電式電池は充電し、アルカリ乾電池は新しいものと交換する。それでもランプが消灯したままの場合は、テクニカルインフォメーションセンター、またはサービス窓口にお持ちください。 ➡DTSに対応していないDVDプレーヤーでDTS音声トラックを再生している。 DTSに対応したDVDプレーヤーを使用する。またはDolby Digital やPCM音声トラックを選択する。 ➡DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）のDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」の状態で、DTS音声で収録されたDVDを再生している。DVDプレーヤーに付属の説明書をご覧になり、DTSデジタル出力設定を「ON」や「入」に切り換えてください。 ➡DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）と本機をアナログで接続している状態でDTS音声で収録されたDVDを再生している。 デジタルで接続してください。（DVDプレーヤーからアナログ音声が出力されない場合があります。） ➡ヘッドトラッキング機能がうまく働いていない。 ヘッドホン装着時にHEAD TRACKINGスイッチをONにしたときや、ONの状態でヘッドホンを装着したときは、約2秒間頭を動かさないでください。それでも音が出ない場合には、ヘッドホンを１回外し、再び装着しなおしてください。
音がひずむ（同時にノイズが出る場合もある）	➡プロセッサーのATTスイッチを「–8dB」に切り換える。 ➡プロセッサーとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続した機器の音量を下げる。 ➡DTSソース視聴時は、プロセッサーの出力モードをVIRTUAL SURROUNDにする。
音が小さい	➡プロセッサーのATTスイッチを「0dB」に切り換える。 ➡プロセッサーとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続したAV機器の音量を上げる。 ➡ヘッドホンの音量を上げる。

症状	原因と対応のしかた
警告音が鳴る 「ピッピッピッ…」	➡ヘッドホンがプロセッサーからの赤外線を受信できない。 • プロセッサーの電源を入れる。 • プロセッサーとACパワーアダプター、電源コンセントの接続を確認する。 • プロセッサーとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。 • なるべくプロセッサーの近くでヘッドホンを使用する。 • プロセッサーの位置や角度を変える。 • ヘッドホンの赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。 • 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または直射日光の当たらない場所で使う。 • プラズマディスプレイが本システムの近くにある場合は、本システムを離す。
「ピーッ、ピーッ、ピーッ…」	➡ヘッドホンの電池が消耗している。フリーアジャストバンドを引き、POWERランプが点滅していたら、充電式電池は充電し、アルカリ乾電池は新しいものと交換する。それでもランプが点滅し、警告音が鳴り続ける場合は、テクニカルインフォメーションセンターまたはサービス窓口にお持ちください。
サラウンド効果が得られない	➡OUTPUTボタンで、VIRTUAL SURROUNDモードを選ぶ（20、21ページ）。 ➡再生中の音声がマルチチャンネルの信号になっていない。 モノラル音源の場合、サラウンド効果が得られません。
ヘッドトラッキング機能の正面方向が実際と合わない	➡実際の正面方向を向いて、ヘッドホンのRESETボタンを押す。
DOLBY DIGITALランプが点灯しない	➡DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）の音声デジタル出力の設定が「PCM」になっている。 DVDプレーヤーに付属の説明書をご覧になり、ドルビーデジタルデコーダーを内蔵した機器を使用するときの設定（「ドルビーデジタル／PCM」、「Dolby Digital」など）に切り換えてください。 ➡ドルビーデジタルフォーマットで記録されていない信号を再生している。 ➡再生中のチャプターの音声がドルビーデジタルの信号になっていない。
DTSランプが点灯しない	➡DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）のDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」になっている。 DVDプレーヤーに付属の説明書をご覧になり、DTSデジタル出力設定を「ON」や「入」に切り換えてください。 ➡DTSフォーマットで記録されていない信号を再生している。 ➡再生中のチャプターの音声がDTSになっていない。 ➡DVDプレーヤーがDTSに対応していない。 DTSに対応したDVDプレーヤーをご使用ください。

（次のページへつづく）

症状	原因と対応のしかた
MPEG-2 AAC ランプが点灯しない	➡BSデジタルチューナーの音声デジタル出力の設定が「PCM」になっている。 BSデジタルチューナーに付属の説明書をご覧になり、MPEG-2 AAC信号が出力されるように設定を変更してください。
CS(バックサラウンド)ランプが点灯しない	➡入力された信号がドルビーデジタル(マルチチャンネル)、DTS(マルチチャンネル)以外のフォーマットである。 • ドルビーデジタル(マルチチャンネル)、DTS(マルチチャンネル)に対応したDVDソフトを再生してください。 • 正しいフォーマットが入力されるように、出力機器の設定を切り換えてください。 ➡ドルビーデジタル(マルチチャンネル)、DTS(マルチチャンネル)の音声を再生していない。 接続した機器で再生を始めてから(デコードモードランプ点灯を確認後)出力モードを切り換えてください。
充電できない	➡乾電池が入っている。 付属または指定の充電式電池を入れる。 ➡付属または指定以外の充電式電池が入っている。 付属または指定の充電式電池を入れる。

使用上のご注意

取り扱いについて
- プロセッサー、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 各機器を分解したり、開けたりしないでください。

電源と設置について
- 長い間使わないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。コンセントから抜くときは、コードを引っぱらずに必ずACパワーアダプター本体をつかんで抜いてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所。
  – ほこりの多い所。
  – ぐらついた台の上や傾いた所。
  – 振動の多い所。
  – 風呂場など、湿気の多い所。

ヘッドホンについて

まわりの人のことを考えて
ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

イヤーパッドについて
イヤーパッドは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、破損したら交換してください。
イヤーパッドを交換する場合は、ソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れのしかた
機器の外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

異常や不具合が起きたら
- 万一異常や不具合が起きたり、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご相談ください。
- お買い上げ店、またはサービス窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンとプロセッサーを一緒にお持ちください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではコードレスデジタルサラウンドヘッドホンシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

プロセッサー　DP-IF8000

デコーダー機能	ドルビーデジタル ドルビープロロジックII DTS DTS-ES 6.1ch MPEG-2 AAC
バーチャルサウンド機能	OFF バーチャルフロント バーチャルサラウンド 5.1 & 6.1
変調方式	DQPSK
副搬送波周波数	4.5MHz
到達距離	正面約10m
伝送帯域	12～24,000Hz
ひずみ率	1%以下（1kHz）
音声入力	光デジタル入力（角型）×2系統 アナログ入力（ピンジャック、右／左）×1系統
電源	DC 9V（付属のACパワーアダプターを使用）
最大外形寸法	約85×190×200mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約1.0kg

ヘッドホン　MDR-IF8000

再生周波数帯域	12～24,000Hz
電源	付属の充電式ニッケル水素電池または別売りの単3形アルカリ乾電池／充電式ニッケル水素電池
質量	約350g （付属の充電式ニッケル水素電池含む）

付属品

スタンド（1）
ACパワーアダプター（9V）（1）
充電式ニッケル水素電池NH-AA（1600mAh min）（2）
充電器（1）
光デジタル接続ケーブル（光角型プラグ↔光角型プラグ、1.5m）（1）
取扱説明書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）
プロダクトインフォメーション（1）

推奨アクセサリー

接続コード　RK-C310（1.0m）、
RK-C315（1.5m）、
RK-C320（2.0m）、
RK-C330（3.0m）（ピンプラグ×2 ←→ ピンプラグ×2）
RK-G129（1.5m）（ステレオミニプラグ ←→ ピンプラグ×2）

光デジタルセレクター
SB-RX100P

光デジタル接続ケーブル
POC-5A（0.5m）、
POC-10A（1.0m）、
POC-15A（1.5m）、
POC-20A（2.0m）、
POC-30A（3.0m）、
POC-5DSA（0.5m）、
POC-10DSA（1.0m）、
POC-20DSA（2.0m）、
POC-30DSA（3.0m）（光角型プラグ ←→ 光角型プラグ）
POC-5AB（0.5m）、
POC-10AB（1.0m）、
POC-15AB（1.5m）、
POC-20AB（2.0m）、
POC-30AB（3.0m）（光角型プラグ ←→ 光ミニプラグ）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ･･･････････ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は･･･03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ･･･････････････････････ 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にておイ受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Korea